

# GSJ 地質ニュース

GSJ CHISHITSU NEWS

～地球をよく知り、地球と共生する～

2015

12

Vol. 4 No.12



磁化率 (magnetic susceptibility) を巡る雑感 森尻理恵・中川 充 337~345

地質標本館来館者アンケート結果概報 (2007-2014) 346~352  
 森尻理恵・吉田清香・朝川暢子・下川浩一・奥山康子・  
 佐藤隆司・高橋 誠・酒井 彰・須藤 茂・利光誠一

戦後 (昭和 20 年代) 地質調査所史補遺 加藤碩一 353~358

● ニュースレター  
 2014 年度第 4 四半期 (2015 年 1 月 -3 月) および 2014 年度全体の地質相談報告 359~362  
 産総研 地質調査総合センター研究戦略部 研究企画室 国内連携グループ

日本学術会議公開講演会のご案内 栗本史雄 363~364

● 齋藤文紀首席研究員 VAST Campaign Medal (ベトナム科学技術院メダル) を受賞 365

● GSJ 交差点 366

#### 表紙説明

##### 航空機から見た浜名湖と今切湾

海跡湖である浜名湖は、かつては遠津淡海とつあわうみと呼ばれ、畿内から見て琵琶湖より遠方にある湖として古くから知られていた。この湖は遠州灘に隣接しているが、元々は湖面の水位が高く、定常的に海水が流入するような環境ではなかった。しかし、室町時代後期の1498年(明応七年)8月25日に起きた明応地震(Mw 8.5)による地盤沈下や津波によって、浜名湖と海を隔てていたバリアーが決壊し、現在のような汽水湖となった。この時発生した潮汐口しまぎれは今切と呼ばれ、その後は渡船で往来する東海道の要衝になったと言われている。(写真・文: 七山 太<sup>1)</sup> 1) 産総研 地質調査総合センター地質情報研究部門)

#### Cover Page

Lake Hamana and Imagire tidal inlet, western Shizuoka Prefecture taken from an airplane.  
 (Photograph and caption by Futoshi Nanayama).